

いきいき新聞

2月号

センターを拠点に

ネットワーク構築始まる

ネットワークは津山市地域づくりサポートセンターの大きな強みと言えます。昨年10月オープン以来、多くの方にご利用いただきセンターを拠点に新しいネットワークが広がっています。当センターは「地域のお困りごとなんでも相談窓口」として運営し、地域の方々から多くのご相談が寄せられています。2019年2月時点で50件のご相談がありました。主な内容

容は「同じような取り組みをしているところを教えてください」ということで来所されました。まず、ヒアリングを行い、必要な情報や今後の動きについて一緒に考えました。そして、関係機関と関連団体のご紹介を行い、当初はセンターと相談者のつながりだけだったのが、最終的には四方八方にネットワークが広がりました(図1)。

あるご相談から広がったネットワーク

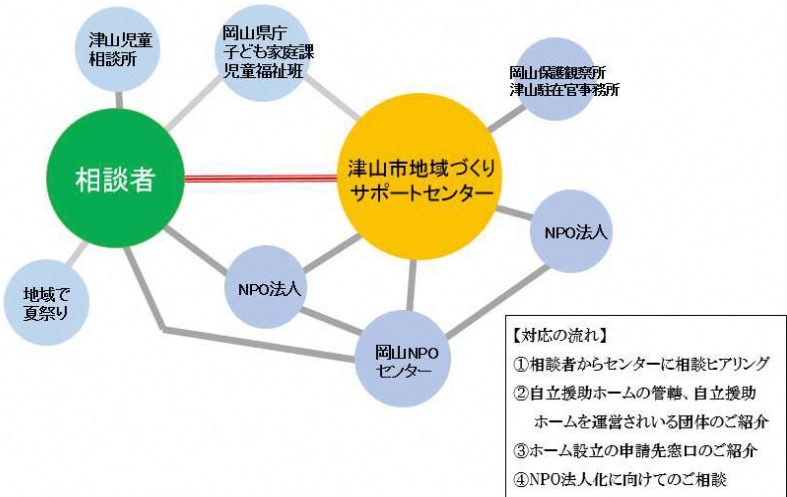


図1 ネットの目状に広がるネットワーク(一例)



このように、センターを拠点にネットワークが広がることで利用者へのサービス向上につながっています。津山市内・市外のみならず是非ご利用ください。

津山市地域づくりサポートセンター
津山市大田920
リージョンセンター内
電話27-0600



お知らせ

■みんなの集いシリーズ
石原達也とゆんたくする会(「ゆんたく」とは沖縄の表現で「おしゃべり」)

り」という意味)センターを管理する「みんなの集落研究所」代表執行役の石原達也が相談に乗りまします。県北エリアで活動する仲間とお茶を飲みながら交流しませんか?
日時・2019年3月22日(金) 13時~15時
場所・津山市地域づくりサポートセンター
参加費・500円
定員・10名※先着順
申込先・当センター27・0600

発行



SNSって何?

センターでは、より幅広い世代の方にもご利用いただくためにInstagramを始めました。Instagram=インスタは、おすすめの写真や動画を仲間と共有するSNS発信のツールの1つです。ぜひフォローしてくださいね。アカウント: tsuyama_ikiiki

SNSとは、インターネット上に自分のページを持ち、おすすめの情報を友人などと共有し発信することができるサービスのことで、代表的なものが、ツイッター、フェイスブック、ライン、Instagramです。



レポート

災害支援交流セミナー

西日本豪雨災害の実践者から学ぶ



避難所の状況を説明する看護師さん

2019年2月2日(土)にグリーンヒルズ津山リージョンセンターで「被災地支援に取り組みたい方々」の参加がありました。倉敷真備町地区で活動した防災士、ボランティアセンター(以下、VC)運営スタッフ、看護師からは、避難所やVC運営、救護班の当時の状況と時系列での状況変化、課題などの発表がありました。その後、「避難所運営」「VC運営」「医療看護」の3テーマに分かれ、ワールドカフェ形式に意見交換を行いました。「災害が起こる前に



ワールドカフェ形式で意見交換の様子

地域でできることはなんだろう」「地域の元看護師さんの把握」「避難所になりそうな場所の把握」など活発に意見が飛び交っていました。今後も災害関連セミナーを開催していきますので、多数のご参加お待ちしております。

センタースタッフミユウのつぶやき

ごみ出しの困りごと

今回は、ごみの出し方について触れます。ごみを出す時間は、基本的には「指定日の午前8時までに出す」という自治会がほとんどだと思います。私の自治会でも以前はその時間指定でしたが、現在は前日の午後5時から翌朝8時までとなったのです。なぜか?

高齢化などで「大きなごみ袋や重たい新聞の束をごみステーションまで運ぶのは大変になってきた」「時間に余裕をもって出せるように変更して欲しい」という要望がきっかけでした。自治会で話し合い、アンケートを作成し、住民の意見を聞いた結果、賛成多数で時間を変更することが決まりました。さらに、ごみステーション出入口の防鳥ネットを扉(鍵付き)に変え、全体をしつかりと囲み対策をしました。町内会の協力により迅速に進めることができたと思っています。今のところ

ころ大きな問題もなく進んでいます。問題があればその都度解決しながら進めていきたいと考えています。また、前述の過程でごみの分別を見直しているところ、スプレー缶の出し方が変わっていることに気づきました。以前は缶の中身を使いきってから穴を開けていましたが、今は穴を開けずに出すようになっています。これは、穴を開けるときのトラブル等防止対策からのようです。ごみ出しルールを守って、きれいな街・気持ち良い街に!